

拠点形成研究交流報告：神戸大学 食の安全・安心科学研究センター (国内協力機関) 大澤 朗 教授の大学院講義、 セミナーと共同研究に関する学術交流実施

本事業の国内協力機関の一つである神戸大学 食の安全・安心科学研究センターより、大澤 朗 教授が来学(12月7~9日)し、大学院特別講義(「Symbiosis of Herbivores and Microbes」と「An Introduction to Kobe University Human Intestinal Model(KUHIM)」)が行われました。さらに、これまでの研究成果の概要と、研究に対する姿勢や推進策についてセミナーを行って頂きました。また、腸内細菌の制御に関する共同研究の打合せを行い、今後の研究推進に関する有意義な討論の機会を得ることができました。

大澤先生は、食品の腸内細菌を介する生理機能性を評価することが可能な「Kobe University Human Intestinal Model(KUHIM)」と命名されたヒト腸管モデルを開発しました。本評価系は、海外のモデルに比べ腸内環境の再現度が高いモデルとして注目され、食品の生理機能性に関する動物実験に代わる評価ツールとして大いに期待されています。現在、畜産免疫ユニットでは、大澤先生との共同で、本評価系を基礎とした多種腸内細菌モデルへの応用を推進しており、今後の益々の発展が大いに期待されます。

大澤先生は、本年度で神戸大をご退職されますが、その後もしばらくは共同研究を継続できるとのことですので、引き続き共同研究をはじめ、大学院生や若手研究者の育成にもご協力頂けるものと思います。本講義およびセミナーは拠点形成事業の一環として行われました。大澤先生に改めて感謝申し上げます。

大澤先生による拠点形成セミナー風景



大澤先生との共同研究打ち合わせ



セミナー後の集合写真

